

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO49

2013年5月12日

日本共産党

新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

学校図書館司書のみなさんへのアンケート調査実施

市内の全小中学校(170校)を訪問

市内の全小中学校には、学校図書館司書が配置されており、学校現場では大変よろこばれています。司書の全校配置は、全国的にもまれで先進的な事業ですが、その身分は94%が非常勤・臨時職員です。司書のみなさんの正規職員化や労働条件の改善が求められていることから、市議団としてアンケートに取り組みむこととし、学校訪問を実施しました。

「司書の存在は必要、正職員化をのぞむ」

学校訪問では学校長に直接面談し、主旨を説明して司書の方に渡してもらおう取り組み

としました。ほとんどの学校長は快く受け取り、「司書はいてもらわないと困る」「正職にして勤務時間を延長してほしい」「若い司書が非常勤で、給料が安くかわいそうだ」「教育に関わる人が臨時

ものの居場所としての対応など、学校の中で必要な存在であり、あらためて司書のみなさんが果たしている役割を知ることができました。

「学校はマンパワー 教職員の増員を」

今の学校現場が抱えている問題の解決のためには、何よりも教員増が必要とする学校長が多数いました。小学1・2年生は32人学級で2クラスなのが、3年生以上は40人学級で1クラスになり教員が減る実状や、中学校では教師が子どもと向き合うためにも35人学級の実現が必要との意見もあり、学級定数と教員増員が大きな課題になって

5 議員団日誌 5

十三日 県女性議員の会総会

十六日 5月臨時議会

(議長選挙)

十七日 各常任委員会

いることがわかりました。

また、事務員や栄養士、調理員、用務員などの教員以外の職員の増員を求める声もだされ、学校は『マンパワー』であり、『教職員の増員』の現に力を尽くさなければならぬと痛感しました。

「安心して

笑顔で通える学校を」

学校図書館司書へのアンケート調査がきっかけの学校訪問でしたが、子どもたちが安心して笑顔で通える学校をつくるとりくみにつながる一歩になりました。

市議団は今後、アンケートの集約結果を返しながら、どの子にも豊かな発達を保障する教育と学校制度の改善に向けた取組をすすめていきます。



図書館司書さん手づくりの「オススメコーナー」

であってはいけない」など、正職員化の要望と、アンケートへの期待が寄せられました。学校図書館司書は図書の出しや選書、図書委員会の指導などの業務はもちろんです。教室に行けない子ども